

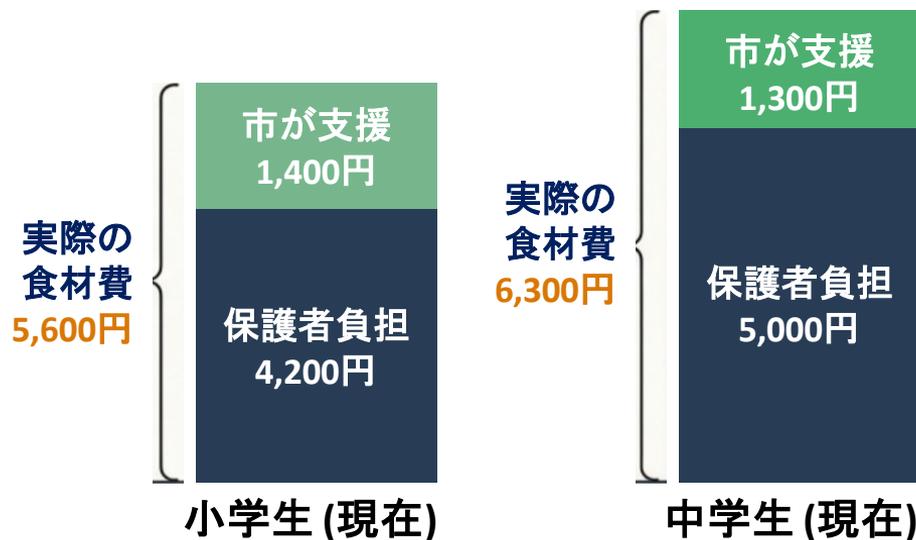


大切なお子様の給食費について：これからの日向市の支援方針

物価高騰の中で、「安全・安心でおいしい給食」を守り続けるために

実は、これまでも「全額」を いただいていたわけではありません。

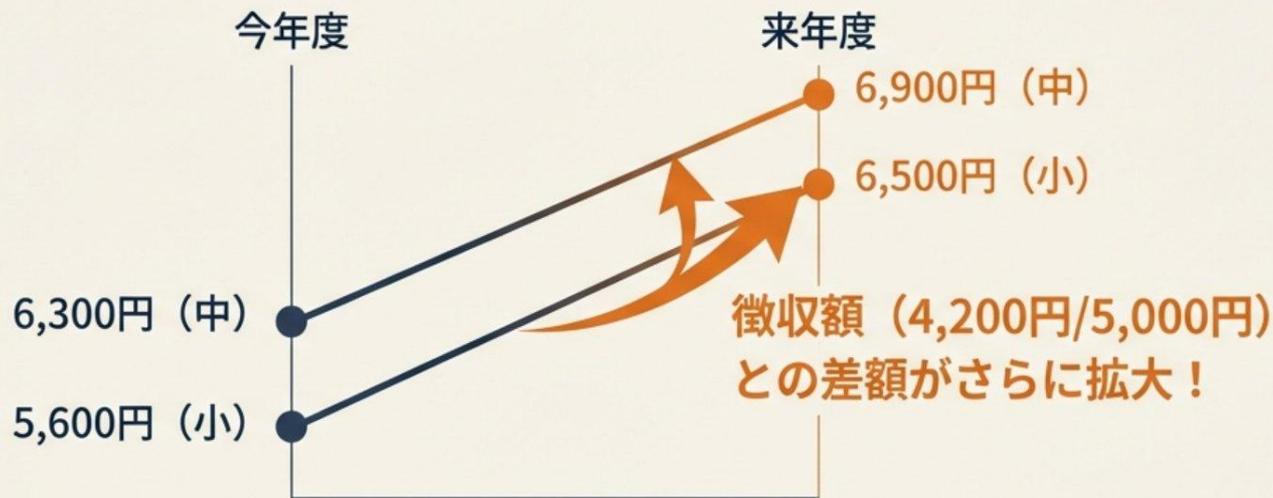
学校給食法において、食材費は「保護者負担」が原則とされています。
しかし、日向市では物価高騰に対応し、市が費用の「差額」を負担し続けてきました。



徴収額だけでは、
すでに給食は賄えない
状態でした。

来年度、食材費はさらに高騰することが確定しています。

物価の上昇は止まらず、来年度の給食を作るために必要な食材費は、さらに値上がりする見込みです。



これまで通りの徴収額 (4,200円/5,000円) では、質の高い給食を維持することが非常に困難な状況です。

国の補助と、日向市独自の「子どもファースト」の決断。



小学生への支援（国の方針）

国の方針により、小学生の給食費に対して**月額 5,200円**の補助が決定しました。



中学生への支援（市独自の決断）

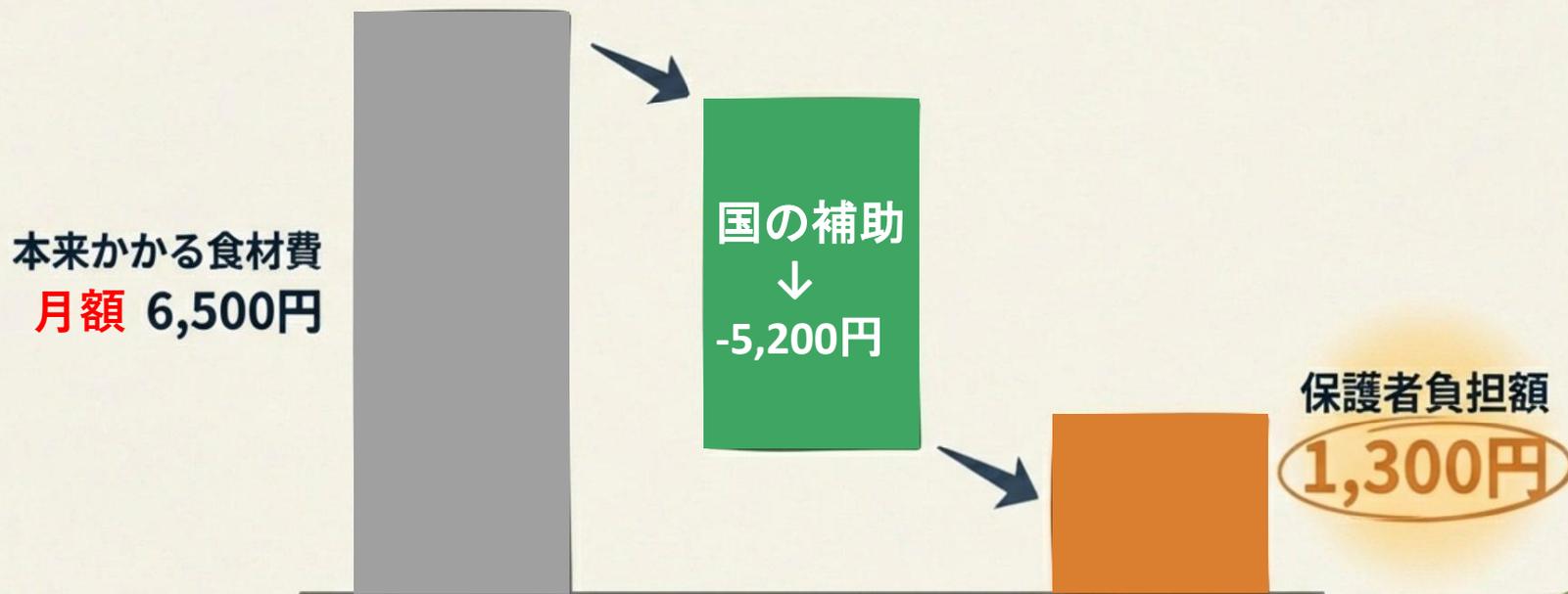
西村市長が掲げる「子どもファースト」のまちづくりに基づき、中学生（1・2年生）に対しても、市独自で同額の**月額 5,200円**を負担することを決定しました。

※ 「給食費無償化」ではなく
「学校給食費の抜本的な負担軽減」

(令和8年度)

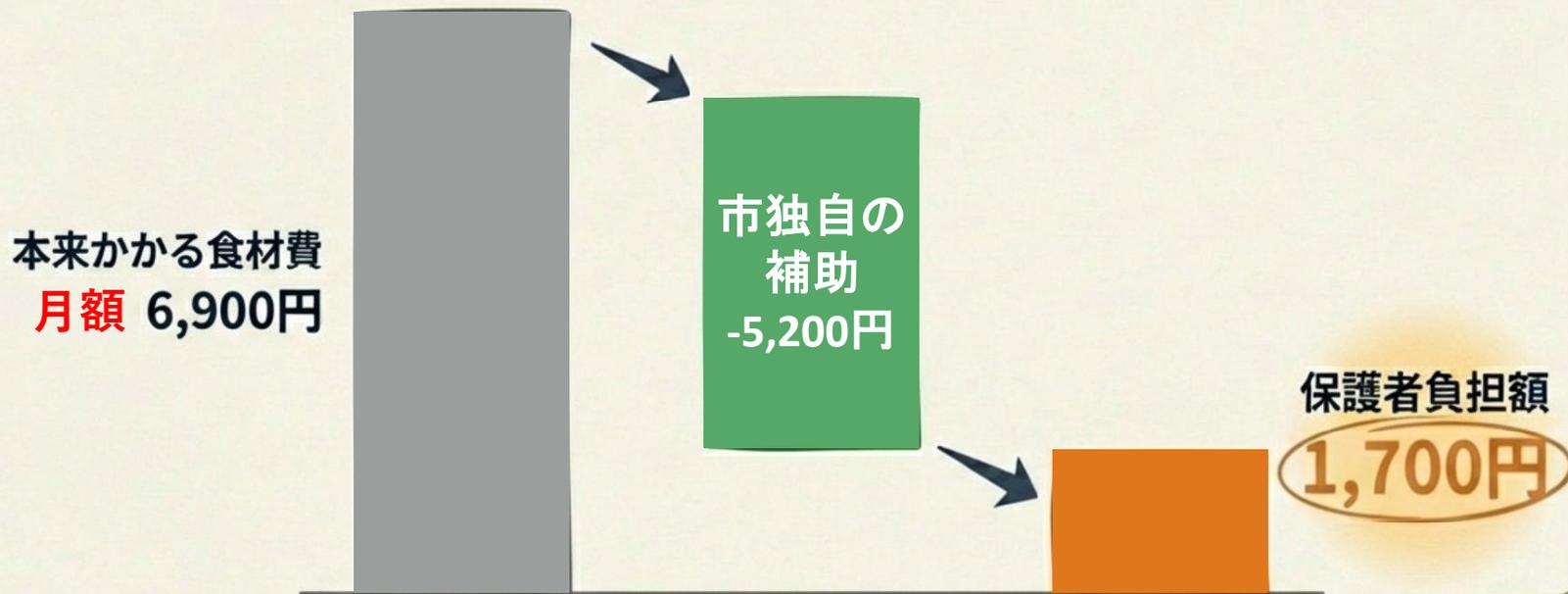
小学生の新しい給食費の仕組み

実際の食材費は6,500円ですが、国の補助を差し引いた「1,300円」のみを徴収させていただきます。



中学1・2年生の新しい給食費の仕組み

中学生の食材費はより高額ですが、市が独自に5,200円を負担することで、保護者の皆様の負担額を「1,700円」に抑えます。



中学3年生への特別措置：完全無償化を継続

高校進学や受験など、家計への負担が大きくなる時期であることを考慮し、
中学3年生に関してはこれまでと同様の**特例措置を継続**します。



本来の食材費
6,900円



保護者負担：

0円

(全額を市が支援)

結果として、家計負担はこれまでより大幅に軽くなります。

これまで (Before)



これから (After)



大幅ダウン

小学校：4,200円 / 中学校：5,000円

小学校：1,300円 / 中学校：1,700円

徴収は発生しますが、これまでの負担額と比較すると、
年間で約3万～4万円の負担軽減となります。

これからも、子どもたちに「最高の給食」を

今回の改定は、食材費が高騰する中で給食の質を落とさず、
かつ可能な限り**保護者の皆様の負担を減らすための決断**です。
未来を担う日向市の子どもたちのために、ご理解とご協力をお願い申し上げます

。



お問い合わせ：日向市教育委員会
学校給食センター